



FAMIC(ファミック)

独立行政法人 農林水産消費安全技術センター

FAMIC メールマガジン 第992号 (一部抜粋)



令和5年10月18日



5. ◇◇ 最近の話題・キーワード ◇◇

◆ 令和5年度公開調査研究発表会 ◆



FAMICは、肥料、農薬、飼料などの安全性、食品表示の真正性の確認をはじめとした各種検査・分析業務を効率的に行っていくための検査分析技術に関する調査研究や有害物質のリスク管理のための分析調査に取り組んでいます。こうした取組を多くの方々に知っていただくため、公開調査研究発表会を開催します。

参加ご希望の方は、11月21日(火)までに当センターホームページの参加登録フォームからお申し込みください。なお、受付は先着順とし、定員となり次第締め切らせていただきます。

日時：令和5年11月28日(火) 13:30~17:00

会場：農林水産消費安全技術センター大会議室及びオンライン開催(Webex)  
(さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎検査棟)

参加費：無料

定員：会場25名、オンライン150名(先着順)

開催案内ホームページ(ホーム>行事・講習会等)

<http://www.famic.go.jp/event/index.html>

※お申込みいただいた方には、後日、参加方法、注意事項等をメールにてご連絡いたします。

【講演】

○食品遺伝子検査の品質を保証する新しい技術の開発

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門  
食品加工・素材研究領域 上級研究員 真野 潤一 氏

【発表課題】

○顕微 FT-IR を用いた汚泥肥料の鑑定方法の検討

○農薬製剤の品質の検査方法の改良

○飼料中のジクワット及びパラコート液体クロマトグラフタンデム型質量分析計による同時分析法の開発

- LAMP 法によるさば加工品の原料原産地判別法の開発
- DNA 分析による大豆加工品の原料原産地判別法の開発
- 飴菓子中のアクリルアミド分析の妥当性評価
- スイゼンジナ、モリアザミ中のピロリジジナルカロイド類分析法の妥当性評価